

神楽通信

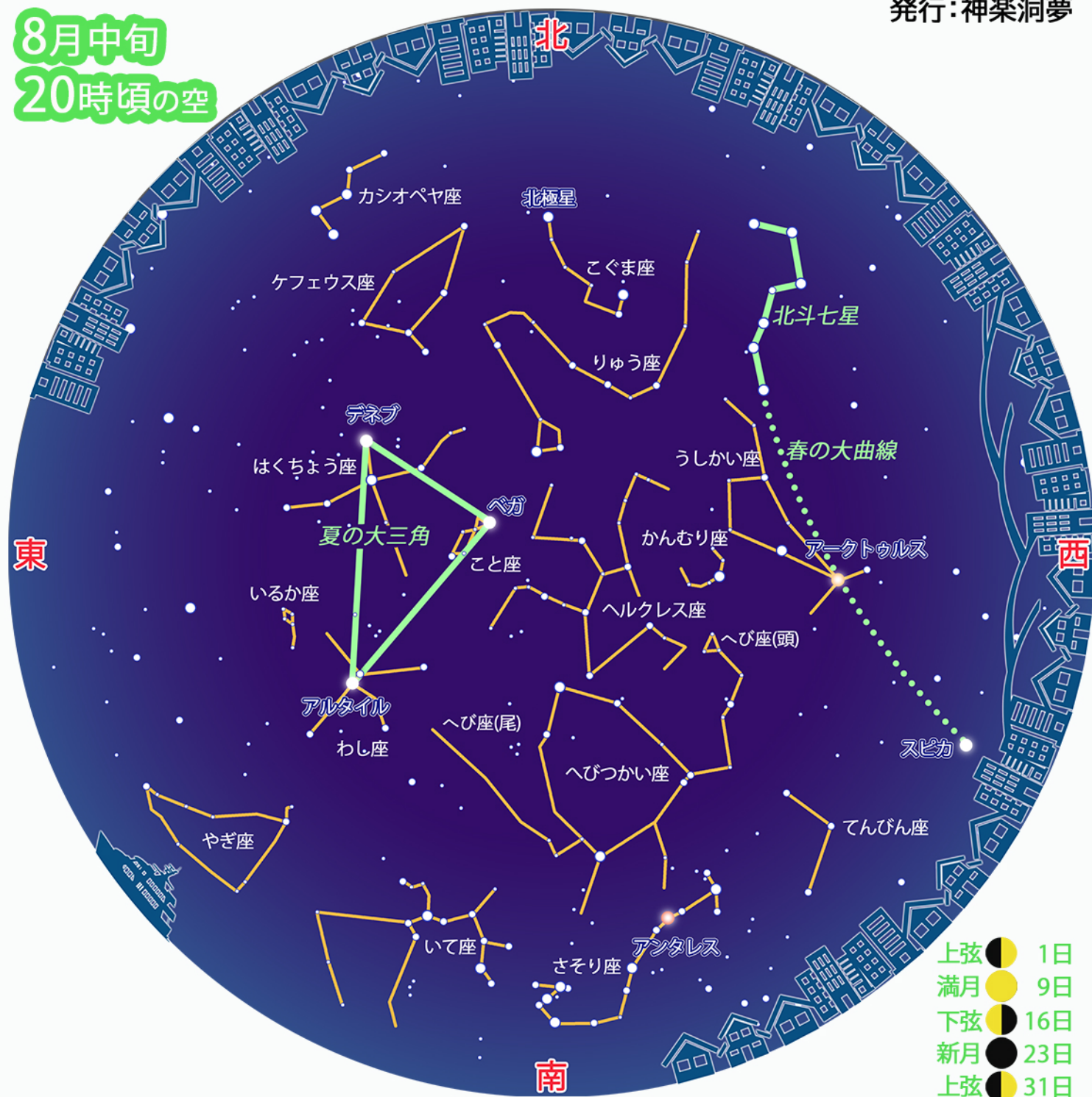
No.114

2025年

8月号

発行: 神楽洞夢

8月中旬
20時頃の空



まだまだ暑い夜が続き、スターウォッチングにも水分補給が欠かせません。
8月になると、こと座のベガ、わし座のアルタイル、はくちょう座のデネブで結ばれる「夏の大三角」が高いところに見えています。また、お盆の頃にはペルセウス座流星群が見頃を迎えます。暗闇の中で明るい夏の星々を辿っていると、その中を流れ星が駆け抜ける瞬間を目にすることもできるかもしれません。

こと座に輝く1等星 ベガ

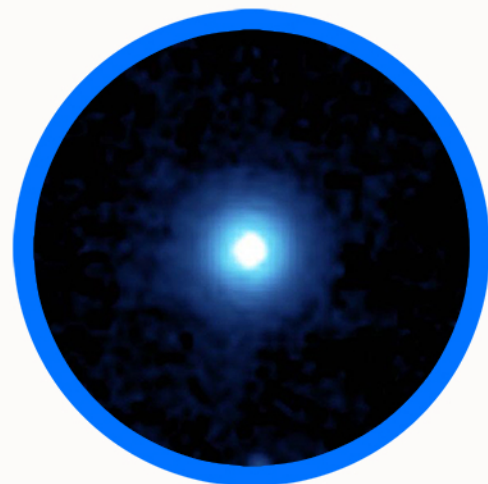
夏の星々の中でひとときわ輝いて見えるのが、七夕伝説の「織姫星」^{おりひめぼし}としても有名な、こと座の1等星「ベガ」です。

わし座の「アルタイル」、はくちょう座の「デネブ」とともに「夏の大三角」の一角をなし、明るさは0.03等で、太陽を除けば全天で5番目に明るい恒星です。

ベガは、全天に輝く星々の中では比較的太陽系から近くにある星で、その距離はおよそ25光年になります。質量は太陽のおよそ2.1倍ほどで、表面温度は平均9000度ほどです。

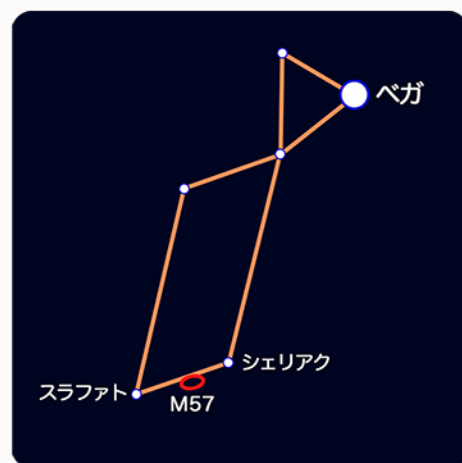
年齢も4～5億歳と若く、太陽と同じ中心部で水素がヘリウムに変わる核融合反応が起こることで輝いている「主系列星」^{しゅけいれつせい}です。太陽よりも高温のため、白色に輝いて見えます。

また、ベガはとても高速で自転しており、少し潰れたミカンのような形状の星と考えられています。その自転周期はおよそ12時間半と、太陽の自転周期（およそ1か月）と比べると、その速さには驚いてしまいます。



NASA/JPL-Caltech/University of Arizona

こと座の1等星「ベガ」



こと座とM57の位置

星空に広がるリング M57

こと座を結ぶ3等星の「シェリアク」と「スラファト」との間には、リング状に見えることで有名な「惑星状星雲」のM57が存在しています。

M57は太陽のような恒星の一生の最期の姿で、外層のガスを大量に宇宙空間に放出し、中心核が「白色矮星」^{はくしよくわいせい}として残っています。

放出されたガスは今なお秒速20kmほどの速さで広がっており、白色矮星から放出される強力な紫外線によって輝いている姿が、私たちからはリング状に見えています。



The Hubble Heritage Team (AURA/STScI/NASA)

惑星状星雲 M57



Okasan Digital Dome Theater
神楽洞夢
KAGURA DOME

〒514-0032 三重県津市中央5-20 岡三証券グループ津ビル4階
<http://kagura-dome.jp> TEL. 059-221-3121 FAX. 059-226-1565